

OB会 だより

挑戦シリーズ
No.49



訪問の富田会長と折茂さん
渡辺元子さん（白衣姿）
わたなへクリニック玄関前にて

定年後の人生

新しい道に挑戦し、輝いている仲間は たくさんいる。

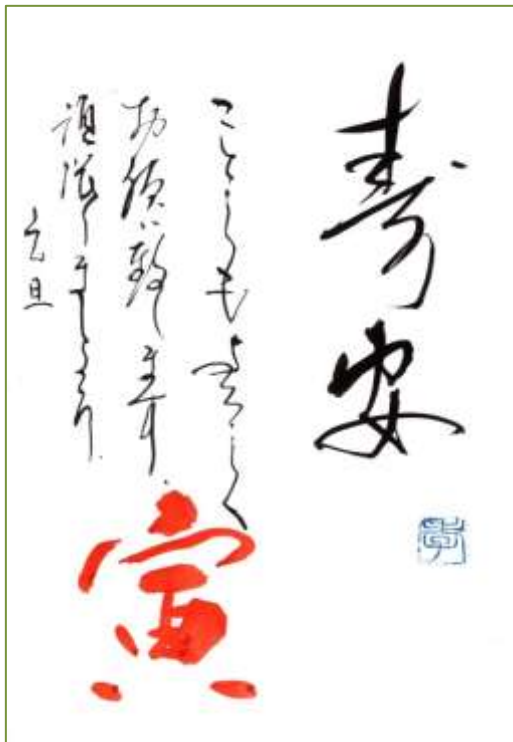
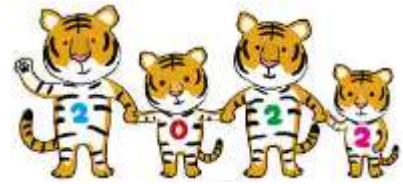
その一人 渡辺 元子さん

かすかべ生協診療所を退職した渡辺元子さんは、東京民医連を退職後「職業病」専門のクリニックを開業したご主人を手伝いながら新小岩住民として地域の仲間と支え合う毎日を送っている

クリニックの開業から 16 年たちました。「職業病」といっても経験のなかった私は、たくさんの症例を経験する中で頸肩腕症候群を含め「職業病」という病気の深さをやっと理解できるようになりました。働く人たちの健康障害に少しでも力になればと思っています。浦診で育った末息子夫婦と一緒に働くようになり、往診やデイサービス、居宅介護支援事業所を運営しています。

オープン時から軌道にのるまで医療生協や浦診の皆さんに物心両面で助けられました。仲間の友情に感謝の限りです。（渡辺元子さんは浦和民主診療所・埼玉協同病院・かすかべ生協診療所で看護師として勤務しました。）

年賀状交流





新入会員紹介

山川 明美さん

よろしく
お願いします

2021年10月14日に定年となりました。
とはいえ、しばらくは現在の職場（ケアセンターかもがわ）で
お世話になる予定です。退職後はぜひOB会の大先輩の皆様と
交流させてもらえたら幸いです。

笑顔あふれた この日 みんな 待っていました！

「前進座観劇」11月21日



「久しぶり・・・」「元気だったあ？」の声が飛び交う埼玉会館。
「前進座創立90周年記念公演・一万石の恋」は、会場が埼玉ということからOB
会が30席を予約、会から1000円の補助金付きの企画は、あっという間に満席。
山田洋二監督の最新作を90年を迎えた前進座の皆さんが演じる舞台、コロナ禍に
疲れた今、充分楽しみました。一万石の殿様演じる国太郎が登場しただけで満席の
埼玉会館大ホールは笑いの渦。カーテンコールで俳優皆さんが並びました。



仲間と一緒に観劇 楽しかったあ

水野 いわ子

前進座のお芝居を久々に仲間と一緒に見て、大笑いし楽しかったです。今の政治
をどことなくチクリと、さすが前進座だなあと思いました。コロナ禍での芝居、私

は幸運なことに今年 2 回見せていただきました。平澤愛さん演ずる小姓菊丸、大きな声で良かったですね。また低価格で見ることが出来ありがとうございました。

家族みんなで 応援しています

大久保 直子

父(大久保忠一)が亡くなり「前進座熊谷友の会」の事務局をを引き継いで6年、これまでは前進座の公演の度に熊谷からバスで東京へと参加していました。今回埼玉公演を初めてOB会の皆さんに見ていただきありがとうございます。我が家は妹(西川和子)が前進座付属養成所(5期)を経て、俳優として「赤ひげ」をはじめ数々の舞台に出演、現在は座友として、また家族も各方面で関わるなど、家族あげてみんなで応援しています。これからもよろしくお願い致します。

「深谷ぶらり旅」



深谷駅に集合した
第一陣の参加者



11月25日

NHKの大河ドラマで賑わいの深谷へぶらり旅。

赤レンガに深緑の屋根、「ミニ東京駅」とも呼ばれる深谷駅に21名が集合。まず向かったのは「深谷シネマ」。日本で唯一の造り酒屋を改装した映画館。ドラマやロケも数多く行われ、ホールには「羅生門」のセットや大林宜彦名誉館長のメッセージ等たくさんの資料がある。シネマ理事長の竹石研二さんは竹石妙子会員のご主人。案内していただきましたが「次はみんなで映画を見に行こう」と思った。渋沢栄一ゆかりの地は大河ドラマ

を思わせるように広い。今にも若き渋沢栄一が走り出してくるようだ。その間を北部の会員の協力で車移動、「資料館」「中ん家」等を見学。青空の下、程よく歩き、深谷ネギの入った昼食の「煮ぼうとう」にも満足。久しぶりのぶらり旅も、仲間の喜びと笑顔があふれ、そして歳をも感じさせられた一日でした。

北部の皆さん ありがとう！

加藤たいこ

県内各地から参加した 21 人は密にならないように分散しての散策です。最初に訪ねたのは「深谷シネマ」。私はこの市民による市民のための映画館の運動や存在を全く知りませんでした。市民シアター理事長・竹石研二さんの案内で見学。現代の映画を上映している館なのに、昭和の子ども頃に帰ったような穏やかさややさしさに包まれました。館内には上映が決まっている映画のパンフレットが沢山掲示され、どれをとっても見たいものばかり!! 竹石さんの「近代的な大きな建物やシアターを作るだけではなく、古い建物を大事にし、よい文化を育てていくことこそが、これからのありかたなのです！」という言葉が心に残りました。

渋沢栄一を育んだ地は、まさに大河ドラマどおり、どこまでも平坦な大地。妹夫婦により再建されたという現存する“中ん家”を見学、隣接するお店で、かの「煮ぼうとう」で昼食。最後に“記念館”に立ち寄り帰路につきました。

日中は歩くと汗ばむほどで良い運動と気分転換になりました。車での送迎や飲食店の交渉など協力くださった北部の皆さん、ありがとうございました。



深谷シネマ 館内の様子

「論語の里」楽しんでいただけましたでしょうか

川口恵子

渋沢栄一関係史跡「論語の里」めぐり、当日は 21 名の参加があり、地元の会員 5 名が車で案内役を努めました。最初に、酒造跡地の建物を利用した「深谷シネマ」に立ち寄り館長から説明を受けました。その後、東京都世田谷区から移築された「誠之堂」や「清風亭」、「尾高惇忠生家」や「鹿島神社」を經由して、旧渋沢邸「中の家」を見学し深谷名物の煮ぼうとうを食べました。そして「渋沢栄一記念館」で栄一ゆかりの写真や多くの展示物を見学しました。見どころはたくさんありますがそれぞれが離れているため、車で案内しながらの散策となりました。慌ただしいスケジュールでしたがご参加くださった方々は楽しんでいただけましたでしょうか。また機会があればぜひ深谷においでください。



「深谷シネマ館賛助会員募集」を同封しました。
みんなで応援しましょう。



職場復帰 できました

前田 正人（老健さんとめ）



2020年の始め頃から大腸がんの初期症状が出始め、看護師から即西協同を受診すると言われていました。

忙しさを口実に先延ばし、9月の西部事務長会議終了後、事務長さん方に取り囲まれ医局にいらした吉野院長まで連行。考える暇もなく埼玉協同病院外科の佐野先生外来を受診、2020年11月、S上結腸がん切除手術→腹膜炎・ストマ増設手術→抗がん剤治療→大腸ポリープEMR→ストマ除去手術を行い、約1年後の2021年10月に復帰しました。

担当してくださった外科の佐野先生はじめ、栗原先生や重吉先生、麻酔科の西川先生は私が医学生担当だった時の奨学生で、埼玉民医連に入職された医師でした。懐かしく頼もしく、嬉しく、医学対冥利に尽きました。手術前とは思えない妙なテンションでした。オペ室やD3病棟の看護師さんたちにも本当に感謝（軽々しく使いたくない程）の気持ちで一杯です。ストマ増設手術前に少し落ち込んでいた様子をN看護師さん（本名を言いたーい！！）が気にかけて、忙しいのに傍らに座って「手術終わったばかりなのに辛いよね」「落ち込んじゃうよね」と雑談のふりして声をかけていただいた時は一発で元気！になりました。看護師さんてすごいですね。

話は変わりますが、通所リハ利用の組合員さんから、「前田君、”さんとめ”つくっておいて良かったよー」と声をかけられます。そのお気持ちは十分理解しているつもりですが、手術・入院を経験して自分事として良く理解することができました。組合員さん、先輩職員の皆さんには「協同病院はじめ沢山の事業所や、何よりそれぞれを支える職員を育ててくれ医療生協さいたまを作ってくれてありがとう」と心から申し上げたいです。病休中ご心配をいただいた諸先輩皆様にお礼申し上げます。

地域の“今”が見えました

山形 文子



前回書いたとおりの第5波拡大でした。

大きい波は茨木の県北地方にも及び、当院の近くでも職場のクラスターが発生しました。ワクチン接種も進む中、クラスターが発生した工場からは、ベトナム人の研修生が数多く注射に訪れました。ベトナム語の問診票を用意したりする等、てんてこ舞いでした。ふだんは見えない地域の“今”が見えました。



「日本政府に 2 度殺された」 と言った姉の最期

福田 紀子

昨年 10 月 21 日、福島で他界した姉に会い、抱きしめて、泣いて、別れました。姉は 16 歳の時、先生から一番に指名され満州開拓団に少女だけ数名で行きました。終戦も知らされず、とり残され、ロシア兵から逃れるため、いわゆる“死の行軍”のすえ、たった一人生き残りになりました。

終戦後中国で結婚し、息子（1 歳児）と夫の故郷の福島に帰りました。2011 年に原発事故で避難騒動にまきこまれ移転しました。その姉の最期は、くも膜下出血となり、意識不明のまま日赤に救急搬送、救急室で医師は息子に「2 週間で意識なく、救命医療を行わないなら自宅に帰るように」と。その翌日、息絶えました。私は姉は抵抗し、拒否したと見えてなりません。皆さん、“最期は自宅で”が自公政府の方針です。「急性期ベッドの 20 万床削減」は、高齢者の最期はすべて自宅での方針が、私達を待っているのですよ!! 抵抗しましょうね!!

私も「高貴光麗者」となりました

梅原 恭子

私も高貴光麗者（世間の人々は後期高齢者ともいうそうですが）となりました。先日、朝食後の食器洗いにたった夫の座布団に真っ白な丸薬が。「薬おちてるよ」と声かけると「たしかに 4 粒のんだよ」とエプロン姿の夫。「えーでも・・・」と。よく眼を近づけてみると本当の球体。薬にこういうのは珍しいなと思っていたら、朝食に食べた魚の目玉でした。「え・・・？」と皆さん思うでしょうが、今度小魚の目をしっかりと見てください。なーるほどと思いますよ。眼はしっかりと「後期」でした。



7 月には 梅の実を結ばせたいですね

青柳 伸二

昨年 11 月頃から「捲土重来」がさかんにいわれました。このことば、何度も使うようだとめげますが、タイガースファンは毎年使っているからスゴイ！あやかりたくないけど。3 年前の 7 月、伊藤岳さんで「七転び八起き」と喜び合いました。「桃栗 3 年」といわれます。梅村さえ子さんは、初めて国会に行ったのが 8 年前です。7 回も転んでいませんが、「捲土重来」を期す埼玉の「梅」は、今年 7 月に花咲いて実も結ばせたいですね。「桃栗 3 年柿 8 年、梅も 8 年」—こんなことを考えながら、日々忙しくしております。

少しでも役にたつことがあったかなあ……

山口 昭子



「埼玉西協同病院創立70周年・老人保健施設さんとめ20周年」の記念動画撮影の依頼がありました。随分前の事だし、体調も思わしくなかったので断ったのですが、熱心な頼みに負けて受けてしまいました。30年以上も経っていることを思い出すため、昔の新聞や資料をあさり、写真を探しました。

当日、さんとめの新しい職員2人と西協同の次長さん、動画を取る関係者3人が我が家に来ました。少しのまとめを考えるだけなのにこの一カ月余り・・緊張と不安の毎日でした。さらに動画となるので、身なり、顔の皺、曲がった背中、シエーグレン症候群がひどくツバが出にくいので口に水を入れないときつかったり、ライトに照らされるなど恥ずかしい限り。3～4日自己嫌悪に陥りました。ただ少しでも役に立つことが言えた（あった）かな～と願いたいです。若くない私にとっては、とっさに事を始めることが大変だったり、当日の打ち合わせなども必要と思いながら、歳をとることの大変さときつかった日を思い出しました。



協同病院とはまた違った 人生のステージで！

岡本 泉

今働いているところは東京の下町にある療養型の病院です。医療生協を卒業してそろそろ4年になります。そのうち2年はコロナに振り回されているような気がします。手伝いのつもりで始めた病院だったのにコロナワクチンの接種とインフルエンザワクチンの接種に忙殺されている日々です。また薬剤師の仕事ができるとは思っていませんでした。とりあえず新しい居場所を見つけたところです。長期療養の末に看取る方の多い病院です。埼玉協同病院とはまた違った人生のステージで患者さんに接しています。新しい発見や気づきを求められることもあるので何となく頑張っています。

退職者の会の皆様へ

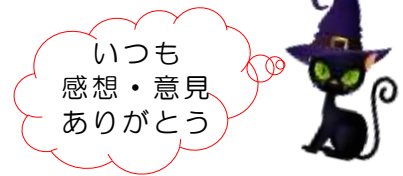
芝崎 明

長い間のご無沙汰 失礼しました。
八ヶ岳の自然の中で愛犬と一緒に楽しく暮らしています。夫婦とも元気で医療・福祉の現場で細々と頑張っています。



(愛犬と散歩コースから撮った八ヶ岳)

OB会だより



★ いつも楽しく読んでいるOB会だよりですが、「私が表紙に載るなんて・・・」これまでは考えられませんでした。数十年も前の写真を見くらべながら「すいぶんおばあちゃんになったねえ！」と思わず娘と笑ってしまいました。このごろ日記を書くのを忘れ、スマホで調べたりしています。5年日記も、今年で2年経て3年目に入りました。若く楽しかったあのころを思い出しながら、娘・孫と「また元気に旅行に行きたいね」と話しています。(中村雅子)

★ 週3日デイサービスに通っていますが、最近は孫(2歳)とよく外に出ます。外に出た時の孫の顔は、とてもうれしそうに見え私もたのしくなります。これからも元気に過ごしていくことに頑張ります。皆さんもたのしい生活が送れるよう祈っています。(高橋正幸)

いつも皆様のお便りや力作の作品から元気もらっています。夫も皆様のお名前を見て「この人知っているよ・・・」と思い出しているようです。これからも「OB会だより」楽しみにしています。(高橋正幸の妻)

★ 「生きているよ～」との思いで年に一度は投稿することを心がけ、みなさんの「たより」を楽しく読ませていただいています。年に一度か二度しかパソコンを使わないので符号がうまくいきません。誰が見てもわかりやすい文章をと心がけているのですが、なかなか難しいことですね。なにしろ私の性格は直球型ですから、文章もストレートすぎるのでは？ ゆき過ぎた文章の時は皆さんが柔らかく解釈してください。(金井東望子)

★ 渋沢栄一と深谷めぐり、そして煮ぼうとうは美味しかったですね。おっきり込みは秩父と群馬で食べられているようですが(岡村さん談) 区別がつかないなどと言いながら食べました。ラインで娘にアンドロイド渋沢栄一を送ったら本物かとびっくりしたと言ってきました(笑) 小嶋美智子



あとがき

感染者が減少した束の間、OB会が前進座観劇と深谷ぶらり旅ができたのは、ほんとうにうれしいことでした。ホールいっぱいの観客に前進座の皆さんの喜びも大きかったと思います。創立90周年とのこと、昔は一枚一枚チケットを売り歩き、衣装や大道具を運ぶ自前のトラックもなく、よそから借りてその代金もなかなか払えなかったと古くから応援してきた友人が話していました。

今朝、岩波ホールが56年の歴史に幕をおろしたと報道がありました。コロナはどれだけ物を壊したかしれません。政治の役割を何度も問いたいです。(K)

OB会のひろば



俳句

「日向ぼこ」 宮谷 忠
日向ぼこ母より父に似てしまふ
水鳥の諍ひ睦み日暮れけり
乗り換への駅の星空悴める

西村 米子
冬青空赤いレンガの深谷駅
冬日さす深谷シネマの絵看板
友と食む葱たつぷりの煮ぼうとう
水野 久子
恙なく家族そろうも去年今年
淑気満つ床に掛けたる師の遺墨
掃初や路地に幼の声弾む

短歌

藤田 悦子
ことしこそ最後にしようと思いつつ
年賀の言葉友に書き居り
平成をおまけの人生と生きて来て
令和四年迎えし元旦

五行歌

巻田 幸子
人生は
人との絆で
幸せの濃淡
生まれる
大切にしよう



川柳

冨田 孝博
株無縁 でも変異株 無視できず
コロナ去れ 命短し 我がいのち
流行語 メチャクチャ言葉 俺嫌い
栗原 和子
我が畑 不揃いの中に 自分を見る
燃やさずに 薫を束ねて ホツとする
岸田総理 仮面の中に なに隠す

長瀬 小田 政満
新しいスマホで一枚



磐越西線・当麻橋梁 岡村 和夫



ちぎり絵 仲村 敬子
食べる・遊ぶ・寝るの毎日。ネコですから！



刈り残しの藤袴に珍客 宮谷 忠
アサギマダラはこの花の蜜の毒を体内に取り込み長旅をするための防衛策にするそうです

浮雲無帰心 富田博石
「大空に浮かぶ雲は 故郷へ帰りた
なごと思ふ心はないだろう・・・」
コロナ禍で二年余り
悠々とした広い空が羨ましい



今年の寄せ植え 小川祥江
新年には梅が満開